

次世代経営者による異業種交流会

支援概要

次世代を担うものづくり企業の経営者による異業種交流会で、解決したい課題や提携したい案件の情報収集等を行う情報交換会の開催や講演会、企業見学を通して企業経営に有益な情報やノウハウを学ぶ機会を作るとともに、参加者の交流を通じて新ビジネス分野や新技術分野で連携できるテーマを見つけ、プロジェクトを企画・実施するためのネットワーク形成を行い、地域産業の活性化や次世代産業の創出を目指しています。

支援経緯

1990年、日本は「失われた20年」と言われるバブル経済の崩壊による不況期に突入し、中小製造業は大手企業の海外シフトによる国内空洞化のあおりを受け、厳しい経営状態に陥っていました。

そのような中、「世界に伍して勝負の出来る製品や技術を持ち合わせないと企業の存続は危うい」との意識を持ち、世界一になるための戦略を持った企業づくりのための勉強と実践、切磋琢磨する連携の場が必要との思いから、当時の上伊那地方事務所商工課が中心となり、志を同じくする中小製造業経営者による異業種交流会「世界一を目指し行動する上伊那地域企業の会（世界一の会）」が結成されました。

以来20年以上にわたり、上伊那地域振興局、上伊那産業振興会とともに伊那テクノバレー地域センターが事務局として、会の企画・運営の一端を担っています。

活動実績・成果

1. 企業見学・講演会・情報交換会

◆2019年7月25日 29名参加
視察先：(株)南信精機製作所
エス・バード

講演：AMシステムズ(株)社長
萩本 範文 氏

◆2019年10月15日 28名参加
視察先：宮田アルマイト工業(株)
JICA 駒ヶ根

◆2019年12月18日 12名参加
「ドイツの第4次産業革命」
講師 ゲントナー・晴代 氏

◆2020年2月18日 31名参加
「中国経済とどう向き合うか～
米中貿易摩擦について」
講師 JETRO 海外調査部
天野 真也 氏

2. 広島県呉市の製造業視察研

2020年2月9日～11日

12名参加

視察先：(株)西本工業 苗代工場

ジャパンマリンユナイテッド(株)

3. ものづくり大賞NAGANO 特別賞受賞

当会の長きにわたる地道な活動が認められ、「ものづくり大賞NAGANO 2019」の特別賞を受賞しました。



(株)西本工業 視察の様子

信州機能性食品開発研究会

支援概要

信州大学農学部と連携し、同大学の有する技術シーズ・リソースの活用による食品関連企業の効果的な新技術・新商品開発の促進を支援しています。また、研究会では県内外の大学や企業の機能性食品に係る研究動向や新たな技術シーズ、最新の機能性食品の開発事例等を紹介するセミナーや交流会を開催し、関係者の情報交換や連携を促すことにより、地域の特産物・農産物の活用による産業振興や新たな機能性食品の開発・販売による食品製造業の振興・発展を図っています。

支援経緯

当研究会は、県内全域から約50社の食品関連企業が参加し、15年以上にわたって、互いに協力や切磋琢磨しながら活動しています。

また平成29年に長野県が策定した「長野県食品産業振興ビジョン」の実現に向けた活動の一翼も担っています。

活動実績・成果

1. 役員会・定期総会・第1回研究会

2019年6月20日開催 62名参加

《特別講演》

① 「健康長寿に貢献するパライムハイ テイクス/イムゾエクス」

東北大学大学院農学研究科教授
北澤 春樹 氏

《事例紹介》

② 「長野県産うす青大豆の機能性の 探索と応用」

伊那食品工業(株)研究開発部
唐澤 幸司 氏

《研究シーズ紹介》

信州大学より2テーマ紹介

2. 「食」と「健康」ラボ研究会

第3回シンポジウムおよび第2回研究会

2019年8月21日開催 77名参加

《特別講演》

① 「トマトとニンジン を極める： 美味しさと健康」

信州大学農学部特任教授
稲熊 隆博 氏

《事例紹介》

② 「機能性素材開発の 取り組み」

(株)長野サンヨーフーズ
樫下 剛 氏

《技術シーズ紹介》

信州大学より2テーマ紹介

3. 第3回研究会

2019年12月20日開催 66名参加

《基調講演》

① 「食品セラミドの皮膚への 機能性」

京都大学大学院農学研究科教授
菅原 達也 氏

《一般公演》

① 「コラーゲンペプチドを 素材とした機能性食品- 効果とメカニズム-」

東京家政大学家政学部准教授
重村 泰毅 氏

② 「ケールを用いた機能性 食品の研究開発」

ヤクルトヘルスフーズ(株)
青汁健康長寿研究講座特任准教授
大野 智弘 氏

③ 「グルコラファニン高含有 ケールの皮膚老化抑制作用」

信州大学農学部准教授 片山 茂 氏

伊那テク・ハイテクセミナー

支援概要

地域産業の製造現場の省人化・高効率化を目的に、産業用ロボット導入に関する実践セミナーを南信州・飯田産業センターや地域の企業等と連携して実施しました。

また、激変する自動車産業に関する知識レベルの向上を図るため、自動車産業の動向セミナーを実施しました。

支援経緯

＜産業用ロボット導入セミナー＞

中小企業は、省人化・高効率生産化を強かに推し進めてグローバル競争力を高める必要に迫られています。

そこで、当センターでは南信州・飯田産業センターと協力して、2018年度からシリーズで産業用ロボット導入セミナーを開催してきました。2019年度は、システムインテグレータの視点から自動化のポイントを解説いただくセミナーを企画しました。

＜自動車産業の動向セミナー＞

自動車業界は“CASE(ツナガル・自動化・利活用・電動化)”の潮流により大きく構造を変えようとしています。伊那谷は、中小の自動車部品製造業者が多いため、自動車産業の動向に詳しい方を講師に迎え、激変する自動車産業の動向を幅広く解説いただくセミナーを企画しました。

活動実績・成果

＜産業用ロボット導入セミナー＞

- ① 「製造業のための自動化の勘所
～Sler視点からの技術提案～」

- 三明機工(株) 代表取締役社長、
Sler協会会長 久保田 和雄氏
②「多品種小ロット生産を革新する」
三和ロボティクス(株)
代表取締役社長 沢 宏宣氏
③「生産現場の自動化実績紹介」
(株)三明 長野営業所長 樋口 恭平氏
・開催日：令和元年10月3日
・場所：エス・バード（飯田市座光寺）
・参加人員：50名
・成果：自動化（ロボットシステムの導入）の進め方、Slerの役割、ユーザー側の人材育成の重要性等がわかったとの意見が多く聞かれました。

＜自動車産業の動向セミナー＞

- ①「激変する自動車産業の動向（CASE、EV化、軽量化）とその対応」
認定特定非営利活動法人 経営支援NP
Oクラブ 新素材研究会リーダー兼起業家支援チームリーダー 関口 清氏
・開催日：令和元年12月13日
・場所：伊那技術形成センター
・参加人員：61名
・成果：自動車産業の方向を解説していただき、今後の事業展開を考える上で参考となりました。特に軽量化のための素材や技術開発が参考になったとの意見が多く聞かれました。



産業用ロボット導入セミナーの様子